

## 1. はじめに

2020 年度は協会活動のほとんどが新型コロナウイルスの感染拡大への対応で追われました。通常総会は少人数の参加による開催となりました。理事会、専門委員会、専門部、サークルの活動も中止、あるいはオンラインの開催とせざるを得ませんでした。その中で、協会活動による感染事例が出なかったことは、新型コロナウイルスに「感染しない・感染させない」という会員の皆さまの積極的な対応の結果と高く評価すべきと考えます。

このような状況の中、協会は 2019 年度同様聴覚障害者の社会参加の推進、福祉の向上を目指して、東京都福祉保健局との懇談会や都議会各政党との予算ヒアリングを通じて、東京都の新型コロナウイルスへの対策、要約筆記者派遣事業の拡充、中途失聴・難聴者のコミュニケーション学習の充実、バリアフリーなまちづくりなどを求めて活動しました。また、耳マークの普及など聴覚障害者への理解を求める要望を東京都内の行政・事業者に対して行いました。これらの活動を実行できたことは、認定 NPO 法人としての協会に対する社会の一定の評価の表れであり、協会の社会的責任をより一層自覚させられた 1 年と言えます。

以下、2020 年度の協会活動を、「新型コロナウイルス感染拡大への協会の対応」、「協会の対外活動」、「協会の対内活動と財政」に分けて報告いたします。

## 2. 新型コロナウイルス感染拡大への協会の対応

新型コロナウイルス感染が拡大し、多くの人々がマスクを着用するようになりました。2020 年 3 月、協会は「マスクの着用という誰もが感染予防に必要と考える当然の行動が、聞こえない・聞こえにくい人にとってバリアとなることの理解を求め、マスクの正しい使用が社会の共通理解となることを求める声明」を発表しました。引き続き、4 月には小池東京都知事が毎日夕刻に発信していた「東京都新型コロナウイルス感染症最新情報」の動画に字幕を付ける要望を東京都に提出しました。

その後、6 月には「意思疎通支援事業における難聴者のウェブでの集まりへの要約筆記者派遣に係わる要望」、10 月には「東京都障害者福祉会館におけるインターネット環境整備についての要望」、2021 年 2 月には「新型コロナウイルスワクチン接種に関する要望」を東京都はじめ関係各機関に提出しました。

それぞれの要望の全部の実現は見えていませんが、私たちの上部団体である一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会（全難聴）及び全国各地の中途失聴・難聴者団体や関係団体と協働して働きかけることで、社会理解が進んできたことを実感しております。

一方、協会活動については「感染しない・感染させない」ことを最優先し、会議・集まりについて①緊急事態宣言など発出されていて、多人数での集まりが制限・又は自粛が求められている場合は、対面での会議・集まりは避け、Zoom などを利用したオンラインでの開催を行う、②緊急事態宣言が解除され、多人数での集まりが制限・又は自粛が求められなくなっても、新型コロナウイルス感染収束が公的に宣言されるまでは、対面での会議・集まりでは「東京都中途失聴・難聴者協会の新型コロナウイルス感染拡大防止のための留意事項」を遵守する、という方針で活動を継続しました。また、コロナ禍の協会活動を協会ニュース、ホームページを通じて広く社会に広報し、はがき通信の実施などで会員の皆さまへの個別支援を行いました。

新型コロナウイルスは、ワクチン接種や治療薬の開発が進められていますが、収束迄まだまだ時間がかかると予想されます。それまで我慢が強いられる毎日ですが、会員の皆さまと協会との絆を確かなものにして、この苦境を乗り越えていきたいと考えます。

## 3. 協会の対外活動

2020 年度の協会の対外活動は、例年同様東京都の要約筆記者派遣事業の拡充、コミュニケーション学習の充実を求める行動を中心に進めましたが、対外活動は前述の新型コロナウイルスに対応したものが中心となりました。

東京都の意思疎通支援者派遣事業は「東京都聴覚障害者意思疎通支援事業（広域型行事への意思疎通支援者派遣）運営要綱」に従って実施されています。しかしながら、派遣目的の公益性・広域性の要件は依然として維持されており、障害者団体の利用が限定され、協会の理事会や専門部の役員会などが対象外となるなど協会活動を大きく制限する実態は変わりませんでした。また、都道府県レベルの広域的な意

思疎通支援事業としての位置づけは依然として不明確な状態が続いており、全難聴の活動と連携して、より一層の意思疎通支援事業拡充を求めて行く必要があると考えます。一方、新型コロナウイルス感染拡大は、オンラインでの要約筆記利用にあたって新たな問題をもたらしました。協会は東京手話通訳等派遣センターの事業開始を待たず、運動協力や会員協力の形でオンラインでの要約筆記利用の実績を積み上げてきましたが、2020年7月以降は、公的な意思疎通支援事業を優先した利用の拡大を進めており、2021年度以降の事業の安定的な運営、利用のしやすさを求めて、2021年度も東京都や東京手話通訳等派遣センターとの話し合いを継続して参ります。

コミュニケーション学習においては東京都主催の中途失聴・難聴者手話講習会や手話通訳等養成講習会指導者クラスの中途失聴・難聴者コースが新型コロナウイルス感染拡大で中止となりました。また、協会が自主事業として行っている手話講習会応用クラス、実践読話講習会も中止とせざるを得ませんでした。このような状況の中、中途失聴・難聴者のコミュニケーション学習の継続を求める多くの方の要望を受けて、協会は学習教材として「続 豊かなコミュニケーション DVD ～中途失聴・難聴者の手話を学ぼう～」、「実践読話講習会 読話テキスト DVD ～新しいコミュニケーションの世界へ～」を作成しました。多くの方がこのDVDを活用して、コミュニケーション学習を継続されることを期待しております。

一方、数年来懸案となっている「耳マーク」普及活動については、東京都の一部交通機関での耳マーク掲示が実現しましたが、都庁・各区市町村施設での耳マークの普及は不十分な状況が続いています。2021年7月には2020東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されています。新国立競技場にはヒアリンググループ席が設けられましたが、私たちが日ごろ利用する施設でのヒアリンググループの整備は非常に遅れております。「耳マーク」は聴覚障害への理解を求める、福祉のまちづくりを進める非常に大切なツールです。聞こえの環境整備・ヒアリンググループの普及を福祉のまちづくりの大きな動きにしていくために、「耳マーク」と「ヒアリンググループマーク」を一体とした私たちの行動が求められていることを実感いたします。また、新型コロナウイルスワクチン接種会場での耳マーク設置は、情報バリアを取り除く大きなシンボルであり、「耳マーク」普及のきっかけとなることが期待されます。新型コロナウイルスワクチン接種会場への耳マーク設置を求める要望をお住いの区市町村に行っていたきたいと思います。

## 4. 協会の対内活動と財政

### 4.1 対内活動

2020年度の「東京都中途失聴・難聴者の集い」は残念ながら新型コロナウイルス感染拡大で、中止とさせていただきます。また、毎年開催している「地域コミュニケーション啓発講座」、「高齢難聴者生きがい講座」、「手話講習会応用クラス」、「実践読話講習会」も中止とせざるを得ませんでした。協会が毎年実施するこれらの講座・講習会は、中途失聴・難聴者が交流・学習を重ねる「場」として着実に実績を積み上げています。2021年度はこれら講座・講習会を万全な形で開催できるよう、鋭意開催準備を進めて参ります。

一方、協会の組織面では、協会の2020年度末の正会員の数が前年比50人減の539人となりました。会員数の減少はこの数年継続する問題ですが、2020年度は新型コロナウイルス感染の影響が大変大きく、協会の活動に人材の面でも財政の面でも深刻な課題をもたらすことになりました。

専門委員会・専門部の再編成につきましては、2019年度の事業計画において、コミュニケーション関係の専門部のあり方について検討することとしておりましたが、2020年度は「コミュニケーション委員会」の設置と「要約筆記部」の活動再開を行いました。しかしながら、年齢階層別専門部の一つである「青年部」が活動メンバーの減少のため、2020年度末で活動を休止することとなりました。新型コロナウイルス感染拡大で多くの障害者団体は組織形態の見直しを迫られております。協会も理事会・専門委員会・専門部のあり方の見直しを2021年度の大きな課題として議論していきたいと考えております。

### 4.2 財政

決算報告にある通り、2020年度は1,660千円の黒字決算となりました。改めて皆さまのご支援に感謝いたします。しかしながら、決算結果にはコロナ関連の給付金が2,538千円含まれており、協会の実質的な収支は、878千円の赤字となっております。赤字要因の大きなものは、会費収入予算比1,062千円減、寄付金収入予算比1,525千円減などです。2020年度の決算結果においても、協会財政安定のために「変動費(事業費)は事業収入や補助金収入・助成金収入を充当することを原則とし、固定費は会費収入、寄付金収入、

雑収入を充当する」必要性は変わっていないと考えております。特に、会費収入の増加の問題は、協会活動全般に係わる課題であり、2021 年度も継続的に検討していきたいと考えます。

## 5. まとめ

冒頭記述しましたように、2020 年度協会は新型コロナウイルス感染対応に追われました。そのため、会員の皆さまと対面で交流する機会がほとんどなくなり、協会の存在意義を問われる 1 年でした。中途失聴・難聴者の当事者団体として、対面での交流が制限される中でどのように集まり・交流を維持していくか、その回答はまだまだ見出せません。理事会や専門部役員会ではオンラインでの会議実績を積み上げていますが、一方では対面でなくてはできない多くのことを失っています。

新型コロナウイルス感染拡大の収束には長い時間が予想されます。会員の皆さまの毎日の生活や協会の活動にも今後様々な影響が出てくることが予想されますが、会員の皆さま、役員一同力を合わせて、2021 年度の活動を行って参りましょう。様々な課題を抱えた協会ですが、2021 年度も協会へのご支援を改めてお願いする次第です。

2020 年度事業報告(一覧)  
(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

1. 特定非営利活動に関わる事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	延べ人数
中途失聴者、難聴者の社会参加のための調査・研究、施策のための提案事業	人工内耳に関する講座	年 1 回(中止)		0
	福祉対策・コミュニケーション関連部活動	月 1 回程度	東京都障害者福祉会館 他	120
中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの充実のための社会教育事業	聴覚障害者コミュニケーション教室	年 3 回	オンライン配信	388
	実践読話講習会	年 17 回(中止)	東京都障害者福祉会館	11
	地域コミュニケーション啓発講座	年 4 回(中止)	東京都障害者福祉会館 他	0
	地域福祉相談支援ゼミ(手話講習会応用クラス三田)	年 20 回(中止)	東京都障害者福祉会館	44
	手話講習会応用クラス多摩	年 20 回(中止)	多摩障害者スポーツセンター	23
	例会	年 3 回	東京都障害者福祉会館 他	208
	高齢者対象「手を動かそう」	年 4 回	東京都障害者福祉会館	55
講師等派遣	東京高等裁判所要配慮者接遇研修・品川区障害者地域活動支援センター		3	
中途失聴者、難聴者の諸問題の解決のための情報収集、提供事業及び他団体との連絡調整	会報「協会ニュース」発行	月 1 回	当会事務所 他	141
	ホームページ運営	随時更新	当会事務所 他	36
	刊行物・耳マーク仕入れ	随時	当会事務所	10
	第 34 回集い	9 月 13 日(中止)	北区赤羽会館	0
中途失聴者、難聴者にかかわる相談、支援事業	高齢難聴者生きがい講座	年 12 回(中止)	東京都障害者福祉会館	0
	中途失聴者・難聴者相談事業	随時	当会事務所	14
	中途失聴者・難聴者地域支援事業	随時	東京都障害者福祉会館 他	66
中途失聴者、難聴者の文化・芸術、スポーツの振興を図る事業	文化系活動	月 1～2 回	東京都障害者福祉会館 他	492

2. その他の事業

自動販売機による委託販売(7 か所 8 台)

東京都庁第一本庁舎 6 階南側・東京都江戸博物館・東京都第五建設事務所・東京都七生福祉園・東京しごと財団(2 台)・東京都多摩職業能力開発センター八王子校・東京都西多摩保健所

2020 年度事業報告

事務局

1. 体制

事務局長: 宇田川芳江 職員: 石田豊子・千羽荘一・松枝朋美

2. 活動報告

- ・理事会 4/18、5/23(中止)、6/27(中止)、7/25\*、8/22\*、9/26、10/24、11/28\*、12/26\*、1/23\*、2/27\*、3/28 \*印は、オンライン開催
- ・東京都福祉保健局との懇談会 7/2 (14 名)
- ・人工内耳に関する講座 中止
- ・「字幕付胃検診」受付 9/5(14 名)
- ・高齢者対象「手を動かそう」 9/14(11 名)、10/12(15 名)、11/9(18 名)、12/14(11 名)  
4~8 月・1~3 月(中止)
- ・協会ニュース発送 毎月第 2 金曜日 12 回(内 3 回は会員有志の協力あり)
- ・「TOKYOみみカレッジ」参加 11/8(中止)
- ・事務局会議 4/20(中止)、5/18(中止)、6/22、7/27、8/17、9/14、10/19、11/16、12/21、1/18(中止)、2/22、3/22
- ・例会 毎月第 4 日曜日 11 回

実施日	内容	参加者数
4 月 26 日	2020 年度事業説明会	中止
5 月 24 日	通常総会	386 (出席 16)
6 月 28 日	手話で楽しくコミュニケーション	中止
7 月 26 日	フリーマーケット・私の作品	中止
9 月 27 日	那須善子氏講演会	44
10 月 25 日	新入会員説明会 & 交流会	31
11 月 22 日	私の作品展	中止
12 月 22 日	クリスマス会	中止
1 月 18 日		中止
2 月 23 日		中止
3 月 22 日	オンライン講演会 要約筆記を知る(YouTube ライブ配信)	117

事業委員会

1. 体制

委員長: 新谷友良 委員: 宇田川芳江・大江千枝・小笠原晶子・丸山由美子

2. 活動報告

委員会開催(オンライン) 5/20、6/24、7/22、8/19、9/16、10/21、12/23、2/10、3/17

3. 事業報告

新型コロナウイルス感染症への感染防止を重視し、以下のⅠ・Ⅲ事業を中止した。ただし、実践読話講習会と手話講習会応用クラスは代替で実施した。

Ⅰ 助成事業

(1) 東京都福祉保健財団助成事業

① 実践読話講習会

→ 講習会は中止したが、受講予定者の受講意欲の維持を図る観点から代替事業として DVD を製作し受講予定者に配付した。

- ②高齢難聴者生きがい講座
- ③地域福祉相談ゼミ〔手話講習会応用クラス三田〕  
→講習会は中止したが、受講予定者の手話技術を維持するため代替事業として DVD を製作し受講予定者に配付した。
- ④地域コミュニケーション啓発講座(運営担当:組織部)
- II 協会委託事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。
  - (1)聴覚障害者コミュニケーション教室(東京都教育委員会委託事業)
- III 協会事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。
  - (1)手話講習会応用クラス多摩
- IV 各種講習会・講座への講師・スタッフ派遣の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。講習会のうち、(2)のみ感染予防対策を徹底し開催の運びとなった。
  - (1)東京都中途失聴・難聴者手話講習会(三田・多摩)
  - (2)東京都読話講習会
  - (3)東京都手話通訳等養成講習会(中途失聴・難聴者対象手話指導者養成コース)
  - (4)講師派遣事業
    - ①東京高等裁判所要配慮者接遇研修(2/16)
    - ②品川区障害者地域活動支援センター(11/28)

## 広報委員会

---

NPO 法人にふさわしい広報活動に向け、協会の広報媒体を見直し、刷新に努めた。

### 1. 体制

委員長:新谷友良 副委員長:小島敦子 委員:石川千鶴・宇田川芳江・村田美和・山内菜央子  
オブザーバー:皆川みさ子

### 2. 活動報告

- (1)委員会をオンラインで開催した。  
5/14、6/11、7/9、8/13、9/24、10/8、11/12、12/24、1/14、2/18、3/11 全 11 回
- (2)会報「協会ニュース」について、会報編集部と内容・編集作業の見直しを進めた。  
専門部・サークルの協力を得、また、新企画などで紙面の充実を図った。  
会報印刷会社を変更したことにより、経費削減に貢献できた。
- (3)協会ホームページについて、適切な情報発信と更新が速やかにでき、読み手に伝わりやすいようにリニューアルした。さらに検討を重ねている。
- (4)Facebook(フェイスブック)とホームページとで連携して情報発信できるようにした。

## 防災委員会

---

### 1. 体制

委員長:小川光彦 副委員長:木村昭夫 会計:松之木礼毅 委員:小谷野依久

### 2. 活動報告

- (1)委員会開催 4/9、4/25、5/14、6/4、7/9、8/8、9/4、11/5、3/23、3/29(すべてオンライン) 全10回
- (2)東京都予算懇談会要望 7/2
- (3)コロナ禍に必要な防災の取り組みについて検討し、会報「協会ニュース」に掲載した。
- (4)ネット等での防災企画実施及び防災関係情報発信について検討した。

## コミュニケーション委員会

### 1. 体制

委員長:皆川みさ子 副委員長:山内菜央子 会計:小谷野依久 委員:坂山己世・安井彩乃・渡辺江美

### 2. 活動報告

- (1)委員会開催 8/20、9/10、10/15、11/19、12/17、1/21、2/18、3/18
- (2)難聴者のコミュニケーション全般について話し合った。
- (3)コロナ禍にあつての協会内活動に関するアンケートを実施。(専門委員会・専門部・文化部サークルを対象)
- (4)上記アンケートで見た課題解決のために、i)Zoom入門講座(仮)、ii)協会ニュース特別号、を2021年度実施に向け企画。

## 要約筆記部

### 1. 体制

部長:渡辺江美 会計:小谷野依久 部員:村田美和

### 2. 活動報告

実施日	内容	場所	参加者数
11月14日	部会	オンライン(Zoom)	3
12月16日	部会	オンライン(Zoom)	3
1月13日	部会	オンライン(Zoom)	3
2月17日	部会	オンライン(Zoom)	3
3月10日	登要会との交流会	オンライン(Zoom)	20
3月17日	部会	オンライン(Google Meet)	3

## 福祉対策部

### 1. 体制

部長:小川光彦 会計:南由美子 部員:小谷野依久・宮本忠司・橋爪由利

### 2. 活動報告

#### (1)協会内部

- ①部会実施 4/15、5/20、7/8、8/19、9/9、10/14、11/18、12/16、1/27、2/10、3/3、3/29  
(すべてオンライン) 全12回
- ②学習会1回実施。

実施日	内容	場所	参加者数
7月4日	部内研修 補聴器学習会	オンライン	3

- ③協会青年部企画協力 ガジェット発表企画 8/29、プレスト企画 9/6

#### (2)協会外部

- ・東京都予算懇談会要望 7/2

## 手話対策部

### 1. 体制

部長: 坂山己世 副部長: 石川千鶴・丸山利江 会計: 国吉玲子

部員: 芦川君代・池田ひろみ・市川博美・内山伸子・掛水泉・河合優子・河原日向子・神尾優子・北島恵子・小貫孝・杉本陽子・鈴木泰子・長沼知子・中村麻子・中村みずほ・橋本美知子・原島美江・平川久美子・松倉孝美・屋代智子・和田すが 25名

### 2. 活動報告 場所: 東京都障害者福祉会館 他

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月13日	部会	中止	10月19日	応用クラス対応 DVD 制作会議	7
5月11日	部会	中止	11月2日	応用クラス対応 DVD 制作会議	6
6月8日	部会	中止	11月9日	部内研修	中止
6月28日	協会例会担当	中止	11月13日	応用クラス対応 DVD 制作会議	5
7月13日	部会	中止	11月24日	応用クラス対応 DVD 制作会議	6
8月17日	部会	中止	11月29日	Zoom 会議のための勉強会	8
8月28日	応用クラス対応 DVD 制作打合	1	12月9日	応用クラス対応 DVD 収録	6
8月30日	新入部員研修	中止	12月14日	部会	中止
9月2日	応用クラス対応 DVD 制作打合	1	12月26日	理事会に参加	1
9月11日	応用クラス対応 DVD 制作会議	8	1月8日	応用クラス対応 DVD 修正作業	2
9月14日	部会	中止	1月18日	部会	中止
9月25日	応用クラス対応 DVD 制作会議	7	2月8日	部内研修	中止
10月9日	応用クラス対応 DVD 制作会議	7	3月8日	部会(オンライン)	16
10月11日	ミニ手話講座	中止	3月29日	役員会議	4
10月12日	部会	中止			

2020年度開催予定の講座はすべて中止になった。

## 会報編集部

### 1. 体制

部長: 小島敦子 会計: 山田恵美子 部員: 入江友紀子・岩崎幣介・堀川すみれ・橋爪由利

### 2. 活動報告

#### (1) 会報「協会ニュース」の編集

##### ① 編集会議

・メール会議 4/8、5/13、6/10、7/8、8/5、12/9、1/13、2/10、3/10 全9回

・オンライン会議 7/22、9/12、10/11、11/8、3/21 全5回

② 紙面校正 4/27、5/27、6/28、7/22、8/26、9/25、10/31、11/26、12/16、1/27、2/24、3/24 全12回

#### (2) その他 会計引継ぎ 9/16、新入部員面談 1/28(オンライン)

編集作業において、各自自宅にて校閲・責了作業を行う

#### (3) 会員に寄り添える紙面を目指し、読みがいのもてる様々な企画を実施した。

① コロナ禍についての原稿を特集として数回掲載。

② 理事の頁を持ち回りで、各理事に担当していただき掲載。

③ 「ニュースの言葉」という企画を立て、耳あたらしい言葉などを掲載。

#### (4) 部員募集をし、1名入部した。

## 組織部

### 1. 体制

部長:有馬富江 副部長:井桁洋子・金子晶子 会計:青木房子  
部員:岩崎幣介・江口祐子・岡田修・小林圭子・前川信・丸山由美子

### 2. 活動報告

実施日	内容	場所	参加者数
4月11日	部会	東京都障害者福祉会館	中止
5月1日	ネットワークニュース114号発行		
5月9日	部会	東京都障害者福祉会館	中止
6月14日	部会	東京都障害者福祉会館	中止
6月23日	地域の会へアンケート発送	協会事務所	1
7月11日	部会	オンライン(要約筆記会員協力)	9
7月31日	ネットワークニュース115号発行		
8月1日	部会	オンライン(要約筆記会員協力)	10
9月12日	部会	オンライン	10(見学1)
10月11日	部会	東京都障害者福祉会館	8
10月7日	ネットワークニュースのため世田谷区地域の会取材	世田谷区総合福祉センター 後利用施設	6
10月23日	ネットワークニュース116号発行		
10月25日	協会例会担当 「新入会員説明&交流会」	東京都障害者福祉会館	37
11月14日	部会	東京都障害者福祉会館	9
11月14日	防災地域コミュニケーション啓発講座	東京都障害者福祉会館	中止
12月12日	部会	オンライン	6
1月10日	部会	東京都障害者福祉会館	中止
1月29日	ネットワークニュース117号発行		
1月31日	地域懇談会東部	東京都障害者福祉会館	中止
2月13日	部会	メールにて課題の話合い	
3月24日	理事会の要請で新型コロナウイルスワクチン接種の要望を地域へ連絡	事務局が郵送	
3月13日	部会	東京都障害者福祉会館	6

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言等で活動が大幅に制限され、当初の活動計画が実施できなかった。

## 実年部

### 1. 体制

部長:関根一喜 副部長:中村麻子 会計:金森澪子 部員:募集中

### 2. 活動報告

実施日	内容	場所	参加者数
8月7日	役員会	東京都障害者福祉会館	3
11月6日	役員会	東京都障害者福祉会館	3
3月5日	役員会	東京都障害者福祉会館	3

※4・6・7・9・10・11・1・2・3月に企画を立てたが新型コロナウイルス感染予防の観点から全て中止した。

中でも11月・1月は募集を締め切ったからの中止決定だったため関係各所・大勢の参加申込者への連絡に追われた。

役員は毎月メール・ファックスで連絡を取り合っていたが、顔を合わせる必要があつて年度内に3回感染予防対策を講じ役員会を開催した。

## 女性部

### 1. 体制

部長: 明田美奈子 総務: 渡辺江美 会計: 今井初恵 記録: 高田香苗

部員: 青木知子・今井節子・寺田由紀子・橋爪由利・原島美江・峯元弘子

### 2. 活動報告

実施日	内容	場所	参加者数
4月2日	部会		中止
4月30日	部会		中止
5月2日	5月企画「ぼた餅作り」		中止
5月27日	Zoomテスト会議	オンライン	9
6月4日	部会		中止
6月6日	6月企画「フラダンス体験教室」		中止
7月2日	部会		中止
7月4日	7月企画「茶話会」		中止
8月6日	部会		中止
9月3日	部会 例会打合せ等	東京都障害者福祉会館 C1	4
9月27日	協会例会担当「那須善子氏講演会」	東京都障害者福祉会館 B1	35
10月1日	部会 企画打合せ、確認	東京都障害者福祉会館 C1	4
11月5日	部会 企画打合せ、確認	東京都障害者福祉会館 C1	4
11月7日	11月企画「クリスマスリース作り」	東京都障害者福祉会館教室	11
12月3日	部会		中止
1月7日	部会		中止
1月28日	部会	オンライン	5
2月4日	部会		中止
2月6日	2月企画「筆談ボード作り」		中止
3月4日	部会	東京都障害者福祉会館 C1	5

## 青年部

### 1. 体制

部長: 高野悠人 副部長: 岡森祐太 会計: 安井彩乃 臨時会計: 酒井宏長

### 2. 活動報告

実施日	内容	場所	参加者数
6月13日	Zoomで手話ベリ!	オンライン	6
6月20日	レッツ・ビブリオバトル!	オンライン	8
7月11日	Zoomで手話ベリ!	オンライン	8
7月19日	Zoomでビブリオバトル! コミック ver.	オンライン	7
8月29日	Zoomでコンペティション!	オンライン	9
9月16日	Zoomで手話ベリ!	オンライン	4
9月19日	オンライン人狼ゲーム	オンライン	6
9月30日	Zoomで手話ベリ!	オンライン	3
10月31日	高野部長のラーメンについて語る会 熊本青年部との交流会	オンライン	7
11月28日	オンライン勉強会	オンライン	13
1月26日	オンラインゲーム「朝までそれ正解」	オンライン	6

【手話サークル 三田昼】

1. 体制 代表:中村麻子 副代表:小栗由美子 会計:笹本直子・飛鳥レイ子 総務:大野義信・國田恵子  
会員数:60名
2. 活動日時 毎月第2金曜日もしくは第2土曜日のどちらかを選択 13時30分~15時30分  
毎月第4土曜日 10時~12時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 第2週:五十嵐郁子氏 第4週:五十嵐郁子氏
5. 活動報告 2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、毎月の手話学習は中止した。「サークル便り」を8回発行。特別企画として11/13・11/14・11/28のみ手話学習会を行った。

【手話サークル 三田夜】

1. 体制 代表:清水政昭 副代表:渡辺美恵子 総務:鍛冶聡 会計:中角淳子 補佐:岩田紘一  
会計監査:井上春江 会員数:24名
2. 活動日時 毎月第1・第3土曜日 18時~20時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 ふくろうクラス:宮本正明氏 みみずくクラス:伊勢正子氏
5. 活動報告 2020年度予定の手話学習会と各種の交流会は、役員間で検討を重ね、活動再開を目指しました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮すると安心・安全に集うことができず、残念ながら全て中止になりました。

【多摩手話サークル】

1. 体制 代表:牧本恵美子 副代表:志村瞳 会計:金子キミ子・奥島和子 会員数:20名
2. 活動日時 毎月第2・第4木曜日 13時30分~15時30分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター
4. 講師 永井邦子氏
5. 活動報告 総会(書面表決)。4月から3月まで休会。毎月サークル会員に声かけを実施。

【多摩火曜手話サークル】

1. 体制 代表:小島敦子 会計:板橋桂子 庶務:新井京子 総務:大堀亮子・渋木靖子 会員数:27名
2. 活動日時 毎月第1・第3火曜日 13時30分~15時30分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター
4. 講師 真藤千枝氏
5. 活動報告 学習日:10/6、10/20、11/17 役員会:8/18、3/16  
新型コロナウイルス感染者拡大のため、上記以外の日は中止した。

【三田絵手紙サークル】

1. 体制 代表:片山善衛 副代表:堀川すみれ 会計:山家一恭 会員数:15名
2. 活動日時 毎月第2木曜日 13時30分~16時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 石井幸子氏(日本絵手紙協会講師)
5. 活動報告 四季の植物、動物、生活の行事など生徒の筆で描き、ハガキをポストインして交流。耳の日記念文化祭は新型コロナウイルス・ショックで参加できず残念でした。

#### 【生け花教室】

1. 体制 代表:飯野堯子 副代表:中村久実子 会計:飯野堯子(兼任) 会員数:7名
2. 活動日時 毎月第1水曜日
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 飯野理堯氏
5. 活動報告 コロナ禍でお稽古ができない状況で、感染人数が落ち着いた月に5回開催しましたが充分なお稽古はできませんでした。

#### 【読話サークル】

1. 体制 代表:沖田健吉 会計:前田喜久子 副会計:鈴木敦子 窓口:入月幸子 委員:大江千枝
2. 活動日時 毎月第2・第4水曜日 18時30分~20時30分
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 活動報告 6/24(8)、9/23(6)、10/14(9)、10/28(8)、11/11(8)、11/25(7)、2/10(7)、2/24(7)、3/10(7)、3/24(10) \*( )内は参加者数  
上記以外の開催予定日は、新型コロナウイルス新規感染者数などから判断し休会。  
3月24日をもってサークルを解散。

#### 【昼の読話サークル】

1. 体制 代表:須合誠子 会計:岩淵悠子 副会計:清水智恵子 委員:須合誠子
2. 活動日時 毎月第1・第4水曜日 14時~16時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. アドバイザー 三宅初穂氏
5. 活動報告 10/7(7)、10/28(7)、11/4(7)、3/24 懇談会(7) \*( )内は参加者数  
4月に学習指導者の交代がありました。コロナ禍により前期は全て中止。後期は4日間しか活動できませんでした。

#### 【多摩月曜手話サークル】

1. 体制 代表:石川千鶴 副代表:山田恵美子 会計:笹木佳子 会員数:16名
2. 活動日時 毎月第1・第3月曜日 13時30分~15時30分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター
4. 講師 田中陽子氏
5. 活動報告 新型コロナウイルス感染拡大のため、2020年度の活動はすべて休止。メーリングリストなどで交流を図った。